



大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師猊下御巡錫

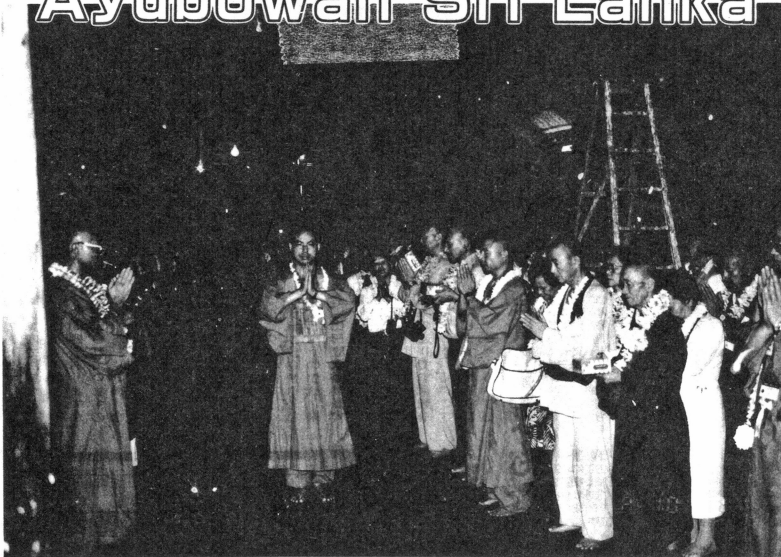
第八回禅文化学林

「スリランカ仏教遺跡研修の旅」

こんにちは

美しい国

Ayubowan Sri Lanka



ケラニア寺で大歡迎

116名の大参加を得て感激の研修となる。

突然であった。我々を、迎えてくれた人々。その数は一千をはるかに越えていた。手に手に美しい花の輪をかかえ、澄んだ瞳は遠来の仏教徒を迎える喜びにあふれていた。

予期せぬ出来事であった。この感激を何で表せばよかったのか。これがブッタの国の人々なのだろうか。これが釈尊の偉大なのだろうか。大恩教主はこの地の人々とともに我々を迎えて下さった。

鳴り響く大梵鐘と沿道の拍手の中を我々は進んだ。静かに静かに手を合せブッタの前にぬかついた。遊行する堂宇の中で心経の音が自然に響き出した。誰もが釈尊の鼓動を聞いていたのだ。我々はこの地で如来の供養を受けた。



発行所
曹洞宗青年会
〒105 東京都港区
2-5-2 曹洞宗修行内
発行責任者 吉岡博幸
TEL.03-454-5410

青年宗侶のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
青年宗侶の自覚を促そう
地域における活動の連携を深めよう

目 次

理事・評議員会を開催…………… 2
後期禅の集い研修報告…………… 4
スリランカ仏教遺跡研修の旅…………… 6
此寺に和尚あり…………… 3
インタビュ― 丹羽禪師様…………… 7

破草鞋

新春は早く間に遠く去り、今年の宗教界は幾つか大きな行事が持たれるようである。その一つは比較山に於て、山田恵諦天台座主主宰の世界平和を祈る「宗教サミット」で八月に開催される。

この呼びかけに応じて、一神教のキリスト教、ユダヤ教、イスラム教、又仏教、ヒンズー教、日本国内の各教派或はアフリカ等からも代表者が参加すると。故泰禪師がローマ法王パウロ二世の呼びかけに、パチカンにて相見なされしは昨日のような気がするのだが、国の枠を越え、宗教の違いの垣を越えての、世界宗教者達が互いの共通問題は何か、戦争難民、飢餓死、医療空白地帯の病死者達、資本の冷酷な取奪の拡大と貧窮の固定化、累積してゆく精神の危機と荒廃、加えて原木塞々既に広島で実験すみの、その幾万倍の大兵器が蓄積され、この生命に充滿する地球を燃焼し去り、その跡にくる寒冷地獄が死の地球と化せしめるという、この危機感の結果こそ宗教者の「世界平和」への祈りの底流でなければならぬ苦だ。高まりつつある世界の危機意識を我々は物の豊かさの身辺に満たされている故に、お互い切実には感じないまいか。

国鉄梅田駅から阪急へ、横断歩道を渡った途端、胸に小箱の金入れを吊った二、三人の青年が我々を呼び止め、カンボジア難民救援を訴えつつ、ビルの寒風に声をからしていた。群衆の流れは誰も立ち止まらない中を、お互い世界のニュースは自由を知っている苦なのに、実はマスコミの選択にゆだねられたニュースの陰に……人類の闇部には死の叫びが聞こえる。

全曹青 理事・評議員会を開催

六十二年度総会は五月十九日

六十一年度の理事・評議員が去る一月十三日に開催された。今回は補文化学林「スリランカ仏教遺跡研修の旅」の最終検討決定会であり、また、次期役員選出の選挙委員会選出も注目を集め、出席率も七割を超え三十五名に及んだ。

会期では理事・評議員会はそれぞれ別に開催されることになっているが、事務局各委員会等の二度説明を省く点から今期では合同の形式を取っている。審議事項の決定については機関ごとに慎重に審議された。

会長の挨拶の後、事務局および各委員会から現状の報告があり、活発な質問提言があった。報告内容を掲載する。

【状況報告】

○本事務局（小原宜弘事務局長）
理事会・事務局・各委員とも出席者が増加しており、それだけに様々な意見が出され充実度を増しています。各地青年会への全曹青に対する理解と連帯感・責任感の現れと受けとめたいと思います。

団体加入の状況

組織委員会が対応いたしていますが、六十一年十月末現在団体加入した青年会は

- 埼玉第一、群馬、千葉、茨城、静岡第三、静岡第四、愛知第一、愛知第二、愛知第三、岐阜第一、三重第一、三重第二、都 大阪、奈良、広島、山口、鳥根第一、鳥根第二、鳥根第四、大分、長崎、佐賀、高崎、鹿島、新潟、福島、宮城、岩手、山形第一、山形第二、青森、秋田（宗務所名）

でありませう。今後も更に理解を求めてまいります。

各地の大会及び役員出席等の状況

今年度の各地方集会ははじめ、単位曹青の周年記念行事、開催事業等には、案内いただきましたが、全場に出席いたしました。（別表一参照）
また、曹洞宗ラテンアソシエーション等の会議にも積極的に参加いたしております。

【会計状況報告】

○本事務局 稲垣智正会計
現況は別表の通りであり、支出については総会承認予算内で決算できまっております。

会費納入状況にや問題もありませんが、今期は大口賛助金が予定されていますのでカバーできそうです。

宗務所とは支払い方法の簡素化をお願いいたしております。

会計年度は三月三十一日までですが、次年度に関連する事項もありますので次期執行部とも協議の上支払、事務を進める予定であります。

【委員会状況報告】

○事務・研修委員会（山田康成委員長）
定着した「禅の集い」はじめ、宗務所主催の「理を聞く会」にも青年僧を派遣するなど新しい試みも行いました。年間の行事報告は次の通りです。（五十号で掲載する省略）
一月末より実施いたします「スリランカ仏教遺跡研修の旅」には百名を超える申し込みをいただいております。

また、東芝 EFM より各種信印シリーズ曹洞宗製作用依頼があり協議を進めております。（八頁参照）

全国会員名簿まもなく発行

○組織委員会（吉村明仁委員長）
団体加入の状況は事務局報告の通りであります。一応の目的は達成いたしました。また、更に理解を求めたいと考えております。

○宗務所との関係
昨年十月一日付けで宗務所の全曹青担当書記が龜山直樹師に変更になりました。今期一年に四回の担当移動ということ、事務上少なからず問題を提起いたしております。また、これはならない宗務所と全曹青との事務業務範囲、処理等についての話し合いもいたしておりますが、結論までには至っておりません。

六十一年度総会について
次期執行部の選出後に最終決定いたしますが、六十一年五月十九日に例年のように理事・評議員会、午後総会を予定いたしております。

以下、他役員、各委員会より報告いたします。

四国地区曹青会 四国高知大会のご案内

謹啓、残寒の候、各位におかれましては益々清寒のこととお喜び申し上げます。さて、この四国地区では宗門寺院の大半が愛媛県にあり、今回の開催地高知には二十一日ほどを有するのみであります。会員相互の連絡もままならぬ状況ではありますが、今回の大会を契機として宗門寺院の意識向上を計るべく一同大いに切切っております。

今回は「仏教をどう生きるか」と題して講師をお招きいたしました。さらに、四国曹青会の一一致団結した活動もご理解いただけると思います。二会場を心よりお待ちしております。

日時 時二月二十八日（土）午後〇時半より 受付
内容 費「仏教をどう生きるか」講師 ひろさちや 師
内 容 費「一万円」
問い合わせ 千七百七十一 愛媛県喜多郡川町子林三二〇〇
長命寺内 四国地区曹洞宗青年会
電話〇八九三（三四）三五二一九

にも配布を開始いたしております。紙面については貴重な費用を使用するわけですので内容を高めたいと願っております。二意見また要望をお寄せいただければ幸甚に存じます。

【選考委員会を開催】

規約にもとずき、理事中から五名、評議員中から四名の委員が選出され、本日より会長が加わって委員会を構成し慎重に入選が進められています。この委員会に次期会長及び副会長を選任することになっております。

（別表一）
六十一年度後期全曹青役員の出席した主たる行事等

- 10 8 東北曹青森大会
- 10 12 佐賀曹青二十周年記念式典
- 10 15 東海曹青岐阜大会
- 11 12 中国曹青山口大会
- 11 29 曹青十周年記念式典
- 12 25 全日本仏教青年結婚大会
- 12 25 鳥取曹青研修会
- その他、東京、禅を聞く会
- *予定
- 2 22 禅文化学林報告会（宗務所）
- 2 28 四国曹青高知大会
- 4 8 東海曹青愛知大会

昭和61年度中間決算報告書(歳出)

科 目	本年度予算額	中間決算額
1. 会 費	1,900,000	971,980
2. 本 部 費	1,500,000	539,766
3. 総合企画費	300,000	9,360
4. 組 織 費	3,240,000	2,427,278
5. 事業研修費	2,400,000	1,645,208
6. 広報費	3,940,000	2,849,612
7. 予備費	220,000	0
8. 繰越金	0	2,100,048
歳出合計	13,500,000	10,543,252

昭和61年度中間決算報告書(歳入)

科 目	本年度予算額	中間決算額
1. 会 費	900,000	230,000
2. 参加費	750,000	425,000
3. 宗務所助成金	9,700,000	8,026,094
4. 出版広告収入	500,000	247,150
5. 雑収入	38,528	3,536
6. 繰越金	1,611,472	1,611,472
歳入合計	13,500,000	10,543,252

仏教遺跡研修の旅(上)

1月26日~2月2日 現地寺院で宿泊研修

今回の訪問地(スリランカ)は国民の七十パーセントが仏教を信仰し生活に取り入れられている。日頃、先相供養中心の仏教徒を罵られていた私達には縁のひられる異文化生活がとてもし新鮮に写った。訪問地(スリランカ)は「仏教遺跡地帯」に今回の旅が、参加者に大きな感銘を与え成功裏に円成できたのは、二十数年にわたるスリランカと物心両面の交流を、ご同様にされた本山永平寺眞面目な芳師研修のお力であることは申すまでもないことであり、改めてこのよき研修をさせていただいたお礼申し上げます。

● 一路、スリランカへ

一月二十六日

午後四時 成田空港集合

どの顔にも期待と不安にじみ、言葉は少ない。

参加百十名が一同集まる部屋は成田には用意されていない、やむなく班別(四班)に仮の結団式を行うが、役員は言葉もわからない。

午後六時半の離陸予定であるが実際は七時をかなり回った。機内は満員、さつそく出食事をたいたげたころ、いさぶん気持の落ちつき雨りの参加者との会話も始まった。聞くところによるとエアラシカ航空のこの便が満席になったのは数年振りとか。また、日本からスリランカに百名を越す団体が出るのは二数年なかったという。

コロンボまでは約十二時間。眠らねばと体にいきまけるが、狭い座席では思い通りにならない。午前二時に二度目の給油地パンコックに到着したがこの頃にはつらつと眠ることができた。

● コロンボ到着

現地時間午前三時

十五分にコロンボに到着。入国審査にかなり時間がかかると聞かされ驚愕していたが「仏教徒の団体」ということで無審査で通過できた。

空港を出るとバスが待つていた。特別車というのであまり使用しない年式班ごとに乗りホテルに向った。

刻々と夜が明けてくる。当地では午前五時は人々の活動時間という。

ホテル(ランカ・オ(ロイホテル))は最新の、中央を大きく吹き抜けた大規模

市内は高層ビルも建設され活気に満ちている。

十一時、大統領に拝謁。八十才を優に越えられているこのごときが長身を折り曲げ歓迎していただいた。別記参照。羽

羽神様から記念の書や品物、全書青からも記念の品が贈られ日本スリランカの永遠の友好を願った。

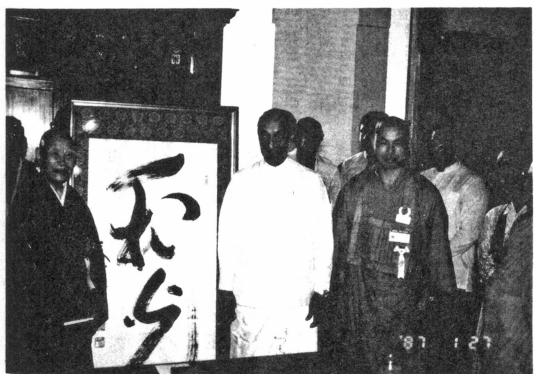
● 坐禅堂建設 地鎮祭を執行

一旦昼食がホテルへ帰る。改めてバラマバマ寺に向う。この住職(スリ)大僧上によつて今回のスリランカ寺院訪問

は実現している。現地の有力僧侶であり、丹羽神様とは大変な懇意な方である。

午後三時、約一時間経過したが、のんびり見た高層ビルは姿を消したが、コロンボの農家が点在し車内もなごやいだ雰囲気になっていた。

歓送式場には二百人は集まらなそう寺の講堂が用意された。寺の僧侶も五十名以上、現地の人も大勢参加して開講式が始まった。開講経、神師のご垂示をいただいた後、現地の記念の品が



大統領官邸にて

我が曹青を語る(7)

島根県石見曹洞宗青年会



会長 永見勝徳

本会は昭和四十四年、これまでの曹青を発展改修し結成されたもので、現在正会員四十五才まで二十四名、OB会員十五名が運営されている。実動できる会員が少数のため他県曹青に比べ少々寂しい感もある。

しかし、少数精鋭と云う言葉があるように所内各御寺院のご支援を得て左記のごとき活動に取り組んでいる。

◎ 会報「曹青」の発行

全寺院檀信徒を対象に、教化と本会活動の理解を得る目的で、年二、三回会報の発行を行っている。内容は一口法話・行事解説・仏像開設・聖句・行事報告・予告等、発行部数八千部。

◎ 心の禅の集い開催

「近年坐禅を求めにお参りするお寺が増えてきた。理由は様々ですが、心身共に強い風にながされる今日、今あらためて人

に体を休めないことが原因で、車内では日本でも午後八時過ぎ」との声も出る程であった。バスで一時間というアナウンスには満足で流れた。

「少数精鋭、活動活発」



●カンボジア難民救済活動
毎年十二月内六市町でカンボジア難民救済活動の古着運動の輸費にあてる。託鉢が行われ、浄財は全額曹洞宗ボランティア会館根支部(SVA)に寄託さ

問性の回復が問われています。一人間はいかに行きたらいいのか。人生の課題とは「あなたも修行僧のような一日を体験してみませんか。きっと新鮮な喜びと、新たな力がわいてくるでしょう。」

◎ 中国曹青

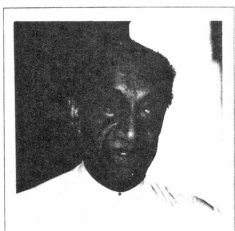
ソフトボール大会開催
本年度は中・四国曹青ソフトボール大会が本会の所管で行われた。参加チームは愛媛曹青、広島曹青、いずも曹青、石見曹青と石見浄土宗青年会の友情参加があり、計五チームで行われた。広島曹青が見事優勝し、管区センター杯を獲得した。又、六十二年度には、第十回中国曹青大会の主管を引き受け、益田市妙義寺をメイン会場に行われる予定。六年度の萩野新会長(西光寺)の下で日分計画中である。自然美に恵まれた大鷹と雪舟の町益田市へのお越しを祈う。以上が本会活動の概要である。最後に役員紹介をして任を終る。

- 役員紹介
- 曹青会々長 永見勝徳(妙義寺)
 - 副会長 斉藤周二(雲松寺)
 - 監査 大谷俊道(慶福寺)
 - 監査 青戸泰俊(宗業院)
 - 第一教区幹事 大谷俊道(慶福寺)
 - 第二教区幹事 末豊源(兼王寺)
 - 第四教区幹事 花吉道久(観音寺)
 - 第五教区幹事 村徳孝彦(守源寺)
 - 第六教区幹事 鎌田伸雄(宝泉寺)
 - 会計 弥重利久(大智寺)
 - 事務局 城市相幸(海雲寺)

日程表

一月二十一日
一月二十三日
一月二十五日
一月二十七日

第八回禅文化スリランカ



皆さん、よくいらっしゃいました。丹羽禅師様のごことはスリランカでよく知られています。禅宗の高僧であった鈴木老僧はこちらでは有名です。1951年にサンフランシスコの平和会議に出席する時私は日本を訪問し、その高僧にお会いしてとても必要なことです。丹羽禅師も皆さんも私の大切な友人です。高僧に導かれたこの国にいらしたかった皆さんを心より歓迎いたします。

スリランカ国大統領
President JAYAWARDENE

●大統領官邸へ
一少し遅いのであろうか、八時三十分のM.C.で朝食。朝食は食堂でパン・紅茶・果物・卵といったところ。南国の果物（バナナ）がこんなにおいしいものとは思わなかった。は格別な味である。出発前現地の貨幣と両替するが、ルビーは約六十円、ドルは二千七百円。一枚の百ドル紙幣一センチの厚さにもなるうららかなというルビー紙幣になったのは驚いた。

仏教徒同志の交流はすでに言葉の壁を通り越していた。微笑みだけで、手を合すだけで互いの心まで理解できるようになった。それは、数々の贈り物もさることながら、日本から多くの仏教徒がこの地に仏教を学びに来た。という会長の話で最高潮となっていた。感激した建信徒総代はその場で一年内に坐禅堂を建立しと発表してしまっただけである。進んで現地の言葉の歓迎を受けながら建設予定地に向い、心経と現地の経典で地鎮祭を執行した。

この日はもう一ヶ所の訪問予定がありました。全曹青の主催事業に定員以上の百六名を動員できたことは主催者として本当によきことでした。北は青森県から南は長崎まで、ほぼ全国から参集していただけのものもうれし、限りでした。百名を越す団体がスリランカを訪ねては七年振りと同じ気持で観光客が激減しているスリランカの事情を察する時、物質的な援助で来たと考えられます。



全曹青が主催した「第八回禅文化スリランカ」は手摺りした成果を取り締り終了するのとができました。ご協力賜りました関係者各位に心かななる感謝の意を表し、研修のご報告をさせていただきます。

今、研修会を開催するにあたり心掛けたことは、全曹青らしい規模と内容の実績でありました。単位曹青では実現できないものへの挑戦が、多くの方々の理解を得、今回の好結果を生んだのだと思います。今、研修会が成し得た成果を大別すると、
 (一) 大山山水平寺貫現下のご巡錫を賜られたこと(全国各地より百十六名の参加者を動員したこと、小乗寺院で体験宿泊など新たな試みを成功させたことなどが挙げられます。
 (二) 大導師陛下の全面的ご法愛を賜られたのは全曹青始まって以来のこと

第八回 禅文化スリランカを終えて

全国曹洞宗青年会会長 吉岡棟憲

が永遠の思い出となったことであらう。我々と修学行動を共にされ、また参加者全員に修学証書を配られ、更に全曹青の活動資金として百万円を寄贈されるなど、大導師陛下の慈悲に溢れるスリランカでの二徳行は尚一層磨きを深くしてきています。改めて丹羽禅師大導師陛下の慈悲に感謝したいと思

また、禅文化スリランカの最大の目玉でした小乗仏教寺院での体験宿泊も、二十六名の青年僧が現地寺院に宿泊し、短いながらも現地青年僧と共に生活し修行の一端に触れることができたのも特筆すべきです。特に上座部と大乗の接点を見出すための討論会は大なる効果をもたらしました。大乗仏教の僧がスリランカ寺院にて研修するのは初めて新聞の取材も

子供達からレイの歓迎

バスが大きくカーブを描いたと思った途端、前部から歓声が上がった。人かいる。レイも百や二百ではない。お城のような寺院に何となく大仏、大仏が待っている。予定では時間も前に到着であった。その時、その時と待っていてく

今回の研修は、仏教遺跡を通して学んだ仏教の流れや思想よりも、スリランカ寺院の僧侶や民衆を通して得た生きた仏教の修得が最大の収穫でした。仏教に大乗・小乗の隔りはなく、釈尊のみ教えに従いながら平和な国家づくり幸福な家庭づくりに務める意義と義務の大切さを痛感させられました。



仏教界代表の挨拶 右は今回の講師ヴィジタ師



坐禅堂建立の地鎮祭 パラマハンマ寺

水に溶け、無毒・無害で汚染なし!!

流し燈籠

◆特長◆
 ●流し燈籠の素材は、すべて水に溶解します。
 ●約30分位水面上に浮かび、その後完全に溶解します。
 ●無毒・無害であり、溶解後も河川を汚染しません。
 ●回収の必要がほとんどありません。(諸官庁許可済)

1基(大)700円 (小)360円

株式会社 光和 〒251 神奈川県横浜市中区堂元町2-20-17
 TEL. 0466(33)6301(代案) (36)4111(直通)

水に浮かぶ玉ローソク
 大玉(5時間)5ヶ入◎600円
 小玉(2時間)5ヶ入◎450円

●ご寺院専用真鍮燭台
 ◎平素お詣り時の灯明用
 ◎ご法要時の補助灯明 (視聴覚布教用)

火気に対しては、絶対安心です。戸外でも、ご利用できます。

空・風・火・水・地の五色入 [五如来様]
 高さ25cm特注品極上磨き(化粧箱入)
 1対(2基)大玉10個付 29,600円
 お施銀鬼用(5基)大玉30個付 68,000円

散步道

大本山永平寺貫首 丹羽廉芳禅師

「孝を名づけて戒となす」

今回の全曹青の「ソランカ仏教道徳研修の旅」は民衆の中に生きる
 釈尊の仏教が参加者の目の前で展開され、大きな感銘を与える旅となり
 ました。この旅が成功裏に円成出来たことはお導き下さいました天
 本山永平寺貫首丹羽廉芳禅師陛下が二十数年にわたって友好を深められ
 たことを第一に上げなければならぬと思えます。禅師とソランカ国
 民との現代の青年層についての話しをうかがいました。



■禅師とソランカのご縁は

今回で訪問は十五回目になりますね。
 ビラ、サーラ大僧のお寺に坐禅堂を
 建立するのが今回の目的ですが、私が東
 京別院監院時代にこの僧上との間に
 弟子を送ったのが始めてですね。最初に行
 ったのは特に苦勞しませんでした。二入
 目も四年いましてね、これが相商の二百
 五十戒を受けることになって——これは
 日本にはないでしょうね——この法要
 はそれぞれの戒を一つ一つ与えるのでし
 ゃうかね、夜中までかかりました。その
 間もずっと後で民衆が聞いているのだす
 んね。厳肅な式で、しみじみ仏教の深さを
 感じましたね。

■仏教國の子はずばらしい。

訪問し始めの頃でしたがさる方が小学
 校にアールを寄附するといふのでね、来
 たんですよ。すると千人以上の男の子が
 ね、ずと正装して並んでいる。みんな
 花を家から持ってきてお祝ひさきに朝礼
 して供えるのですね。どの子の目もかがや
 いている。仏教國の子供はずばらしいな
 こういふ子を日本に呼んで駒沢大学にか
 ようせてやったらいいなあつてしみじみ
 そう思いましたね、それから私は年に二
 入づつ引き受けていますよ。もう何人に
 なりましたか。

■禅師様のお若い頃は、

私は十二才で寺に入りましてね。そこ
 から小学校へかよいましたが、いじめも
 ありません。だんだん知恵がひつこん
 じまって、その頃の小学校は程度も低か
 ったのでしょね、曹洞宗のあるお坊さ

まが静岡師範の付属高等小学校へ転校さ
 せてくれた。ところがそこまで里
 もある。毎朝、早かったすね。暗く
 怖くて、気が小さかったのかね、いじめ
 られて、

そこで、中学を受けました。その時は
 第二希望が初めてありましてね、第二希
 望の真山中学に入りました。
 高等小学校でも英語を習っていたの
 たので、中学に入った年の学芸会では私
 は英語でスピーチをしましたよ。(笑い)

■師僧が助ましてくれましたね。

「廣坊、もしお前が中学で十番以内に

中曽根首相に

下着を脱げ

■静岡高校といえは中曽根首相がいっ
 しゃいましてね。

ええ、私は文科内類の第一回生で、中
 曽根首相は十四回生です。それで、この
 間「放下書」を書いて差し上げたの
 ですよ。そうしたらそこに居合せた国会
 議員さんという意味か、聞くと「下
 着を脱げ」ということだと話しました。
 すべてだかになって自分のことを考えず
 一切を放下して國の為に尽せ、というこ
 とでね。そうしたら、臨済宗のあるお寺
 の晋山式でその菅長様が「中曽根首相
 ともある書が「放下書」を下着を脱げ
 と話すとは馬鹿げた」と話された。(天
 笑い)

大学「東大印哲」を卒業してからは岸

入ったら銀時計を買ってやろ」といっ
 てくれました。さうしたら五番になっ
 ちまってね。しょうがねえ師僧は「今で
 も大事にしていますが、買ってくれま
 した。兄弟も万年筆をくれましたよ。(笑
 い)」
 厳格でしたが親切ない師僧でした。
 それから静岡高校です。



パラマバンマ寺にて

■今回のソランカでは小乗のお寺で泊
 りていただきました。随分習慣も違っ
 ちです。

そうそう、私は弟子のウイジタ(今回
 の研修の講師)に自動車免許を取らせ
 ました。こちら(ソランカ)のお坊さ
 まはそんなことをしてはいけません
 です。(笑い)ここでは庭掃除もお給仕
 も典座もやらねえらしいですね。だん
 だん変わりますが、自転車にも乗らない
 というのはね。

■こちらのお坊様に「日本の僧侶は戒を
 守っていない」といわれましたが。
 大乗・小乗は表裏一枚の物であります。
 二開山さまもこの精神です。別々な物
 ではありません。

梵網経でお釈迦さまがお説きになった
 この戒法ですがこれは大切なことです
 から私はこうして書いて持っています。
 (格子を見せられる) ころありますね。

- 孝順父母師
- 僧三宝孝順
- 至道之法
- 孝名為戒
- 亦名制止

出家したら、この孝順ですね。お釈迦
 さまも孝順ですね。この上ないことです。
 「孝をつけて戒」と。と岸沢老師は
 説きました。父母、師僧、三宝に孝養
 すれば、お釈迦様の大慈悲心です。な
 りと忘れなければいいです。日本
 で妻帯問題がありますが、この頃しじ
 み感ずるのです。お寺に行くと奥様の
 いないのはさみしいですよ。奥様がいら
 つたら、お寺に権威が安心して寺に行く
 ためのに寺持得度があるのです。
 青年会の皆さんにますます頑張つて欲
 しいですね。



レイを受けられた禅師様

長い眉、大きな笑い声、それでい
 ない慈しみ深い目、これから日本
 仏教界の重鎮として聖体長養をお祈
 り申し上げるとともに益々のご活
 躍を願わずにはいられない。

出版紹介

命のつめよみ

いのも 青曹会長 村上正光

この度、いとも曹曹会長は、中国曹曹連...

法曹界より松原三郎弁護士、モラロジ...

曹洞宗の教えとお勧めの仕方

曹洞宗権信徒用ビデオ

このたび、全曹曹では「東芝EMJ株...

青年会活動の問題点

去る十二月五日六日の両日、比叡山延暦寺...

全日本仏教青年会の現況を探る④

青年代表者会議から

青年代表者会議から、宗派を超えて...

研修

詩偈と禪

今回は、これまでの集大成として、乗炬...

「在世七十二年之仮春、莊嚴涅槃場...

瑞林の春を探りて、親しく一乘の妙趣...

今也

これは、新井禪師様の乗炬香語をお借...

今回の開催目的を執行部...

青年代表者会議から

青年代表者会議から、宗派を超えて...

- (A) 道念清似玉、志操嚴於霜...

- (B) 伝法於空翁室中、親白半軫...

- (C) 精進忘其勞、素娥代破關欄...

- (D) 磨心珠手憶蓮、慈雲謝甘露...

- (E) 轉靈虎爪虎駝、擢林登瑞香...

- (F) 毘風擊空、直下絕無纏騎...

- (G) 夜明巖外、金桂呈祥...

- (H) 即今向上、路將甚嚴較些...